

(評価)  
A ……目標値の100%以上の達成率  
B ……目標値の80%以上100%未満の達成率  
C ……目標値の60%以上80%未満の達成率  
D ……目標値の30%以上60%未満の達成率  
E ……目標値の30%未満の達成率  
－(その他) ……調査中及び達成率による評価ができないもの等

第六次千葉県障害者計画 数値目標 達成状況管理表

| 施策<br>番号 | 主要施策                    | 基本施策                                 | 担当課     | 数値目標<br>番号 | 項目                                  | 単位  | 28年度<br>(実績) | 30年度<br>(目標) | 30年度<br>(実績) | 元年度<br>(目標)  | 元年度<br>(実績) | 2年度<br>(目標)  | 2年度<br>(実績) | 評価 | 成果の状況等<br>(30年度・コメント)  | 成果の状況等<br>(元年度・コメント)  | 成果の状況等<br>(2年度・コメント) |
|----------|-------------------------|--------------------------------------|---------|------------|-------------------------------------|-----|--------------|--------------|--------------|--------------|-------------|--------------|-------------|----|--|---|----------------------|
| 4-(1)    | 4障害のある子どもの療育支援体制の充実     | (1)障害のある子どものライフステージを通じた一貫した療育支援体制の充実 | 障害福祉事業課 | 4-1        | 児童発達支援センター数                         | 箇所  | 36           | －            | 38           | －            | 38          | 41           |             | －  | ・32年度41箇所に向け進展している。  | ・現状維持となった。  |                      |
| 4-(1)    |                         | (1)障害のある子どものライフステージを通じた一貫した療育支援体制の充実 | 障害福祉事業課 | 4-2        | 児童発達支援事業所数                          | 箇所  | 271          | 360          | 371          | 390          | 439         | 420          |             | A  | ・新たに52事業所の開設があり、目標以上の事業者数を達成した。                                  | ・新たに68事業所の開設があり、目標以上の事業者数を達成した。                                 |                      |
| 4-(1)    |                         | (1)障害のある子どものライフステージを通じた一貫した療育支援体制の充実 | 障害福祉事業課 | 4-3        | 医療型児童発達支援事業所数                       | 箇所  | 8            | 増加を<br>目指します | 8            | 増加を<br>目指します | 8           | 増加を<br>目指します |             | E  | ・新規の開設がなく、現状維持となった。  | ・新規の開設がなく、現状維持となった。   |                      |
| 4-(1)    |                         | (1)障害のある子どものライフステージを通じた一貫した療育支援体制の充実 | 障害福祉事業課 | 4-4        | 放課後等デイサービス事業所数                      | 箇所  | 488          | 580          | 604          | 620          | 669         | 660          |             | A  | ・新たに89事業所の開設があり、目標以上の事業者数を達成した。                                  | ・新たに65事業所の開設があり、目標以上の事業者数となった。                                  |                      |
| 4-(1)    |                         | (1)障害のある子どものライフステージを通じた一貫した療育支援体制の充実 | 障害福祉事業課 | 4-5        | 保育所等訪問支援事業所数                        | 箇所  | 45           | 55           | 46           | 60           | 59          | 65           |             | B  | ・新たな開設もあったが、目標に届かなかった。   | ・新たな開設もあったが、目標に届かなかった。  |                      |
| 4-(1)    |                         | (1)障害のある子どものライフステージを通じた一貫した療育支援体制の充実 | 障害福祉事業課 | 4-6        | ライフサポートファイルの実施市町村数                  | 市町村 | 39           | 増加を<br>目指します | 46           | 増加を<br>目指します | 48          | 増加を<br>目指します |             | A  | ・新たに2市がライフサポートファイルを導入し、着実に増加している。                                | ・新たに2市がライフサポートファイルを導入し、着実に増加している。                               |                      |
| 4-(2)    | 4障害のある子どもの療育支援体制の充実     | (2)障害のある子どもと家族への在宅支援機能の強化            | 障害福祉事業課 | 4-7        | 短期入所事業所数(障害のある子どもを受け入れる事業所)         | 箇所  | 96           | 102          | 112          | 108          | 120         | 114          |             | A  | ・短期入所事業所数(障害のある子どもを受け入れる事業所)は目標である102箇所を10箇所上回る112箇所と大幅増の実績となった。 | 短期入所事業所数(障害のある子どもを受け入れる事業所)は目標である108箇所を12箇所上回る120箇所と大幅増の実績となった。 |                      |
| 4-(2)    |                         | (2)障害のある子どもと家族への在宅支援機能の強化            | 障害福祉事業課 | 4-8        | 居宅介護事業所数(障害のある子どもを受け入れる事業所)         | 箇所  | 750          | 800          | 768          | 850          | 787         | 900          |             | B  | ・事業所の数は増加傾向にあるが、達成率は低くなっている。                                     | ・目標事業所数には至らなかったが、事業所の数は増加している。                                  |                      |
| 4-(3)    | 4障害のある子どもの療育支援体制の充実     | (3)地域における相談支援体制の充実                   | 障害福祉事業課 | 4-9        | 障害児等療育支援事業実施見込み箇所数                  | 箇所  | 56           | 50           | 55           | 50           | 60          | 50           |             | A  | ・事業所からの実施協議が増え、目標の事業所数を達成した。                                     | ・事業所からの実施協議が増え、目標以上の事業所数となった。                                   |                      |
| 4-(3)    |                         | (3)地域における相談支援体制の充実                   | 障害福祉事業課 | 4-10       | 療育支援コーディネーターの配置人数                   | 人   | 6            | 増加を<br>目指します | 7            | 増加を<br>目指します | 7           | 増加を<br>目指します |             | E  | ・新たに1圏域で1名の配置があり、増加した。   | ・現状維持となった。  |                      |
| 4-(4)    | 4障害のある子どもへの医療・福祉サービスの充実 | (4)障害のある子どもへの医療・福祉サービスの充実            | 障害福祉事業課 | 4-11       | 医療的ケア児支援のための関係機関の協議の場の設置数           | 箇所  | 3            | 30           | 16           | 30           | 17          | 30           |             | D  | ・16箇所(県1、圏域1、市町村14)の設置があった。                                      | ・新たに1圏域の設置があった。   |                      |
| 4-(4)    |                         | (4)障害のある子どもへの医療・福祉サービスの充実            | 障害福祉事業課 | 4-12       | 主に重症心身障害児を支援する児童発達支援事業所数            | 箇所  | 24           | －            | 24           | －            | 24          | 30           |             | －  | ・新たに4事業所の開設があった。   | ・現状維持となった。  |                      |
| 4-(4)    |                         | (4)障害のある子どもへの医療・福祉サービスの充実            | 障害福祉事業課 | 4-13       | 主に重症心身障害児を支援する放課後等デイサービス事業所数        | 箇所  | 25           | －            | 27           | －            | 28          | 31           |             | －  | ・新たに3事業所の開設があった。   | ・1事業所の増となった。  |                      |
| 4-(4)    |                         | (4)障害のある子どもへの医療・福祉サービスの充実            | 障害福祉事業課 | 4-14       | 医療的ケア児に対する関連分野の支援を調整するコーディネーターの配置人数 | 人   | －            | 50           | 15           | 70           | 17          | 90           |             | E  | ・15名の配置があった。   | ・17名の配置があった。  |                      |

(評価)  
A ……目標値の100%以上の達成率  
B ……目標値の80%以上100%未満の達成率  
C ……目標値の60%以上80%未満の達成率  
D ……目標値の30%以上60%未満の達成率  
E ……目標値の30%未満の達成率  
－(その他) ……調査中及び達成率による評価ができないもの等

第六次千葉県障害者計画 数値目標 達成状況管理表

| 施策<br>番号 | 主要施策                | 基本施策                                | 担当課     | 数値目標<br>番号 | 項目  | 単位 | 28年度<br>(実績) | 30年度<br>(目標) | 30年度<br>(実績) | 元年度<br>(目標) | 元年度<br>(実績) | 2年度<br>(目標) | 2年度<br>(実績) | 評価 | 成果の状況等<br>(30年度・コメント)   | 成果の状況等<br>(元年度・コメント)   | 成果の状況等<br>(2年度・コメント) |
|----------|---------------------|-------------------------------------|---------|------------|---|----|--------------|--------------|--------------|-------------|-------------|-------------|-------------|----|---|--|----------------------|
| 4-(4)    |                     | (4)障害のある子どもへの医療・福祉サービスの充実           | 障害福祉事業課 | 4-15       | 障害児入所施設数  | 箇所 | 16           | 17           | 17           | 17          | 17          | 17          |             | A  | ・新たに1施設の開設があり、目標を達成した。  | ・目標の定員を維持している。   |                      |
| 4-(4)    |                     | (4)障害のある子どもへの医療・福祉サービスの充実           | 障害福祉事業課 | 4-16       | 福祉型障害児入所施設入所定員  | 人  | 278          | 288          | 288          | 288         | 288         | 288         |             | A  | ・新たに1施設の開設があり、目標の定員を達成した。   | ・目標の定員を維持している。   |                      |
| 4-(4)    |                     | (4)障害のある子どもへの医療・福祉サービスの充実           | 障害福祉事業課 | 4-17       | 医療型障害児入所施設入所定員  | 人  | 582          | 582          | 582          | 582         | 588         | 582         |             | A  | ・目標の定員を維持している。  | ・定員増の施設があり、目標を超えた。   |                      |
| 4-(5)    | 4障害のある子どもの療育支援体制の充実 | (5)障害のある子ども一人一人が十分に教育を受けられるための取組の充実 | 特別支援教育課 | 4-18       | 幼・小・中・高等学校等において、個別の指導計画の作成を必要とする児童等のうち、実際に個別の指導計画が作成されている児童等の割合     | %  | 96.6         | 97.4         | 98.4         | 97.8        | 98.1        | 98.2        |             | B  | ・特別支援学級、通級指導教室の在籍児童生徒はもとより、合理的配慮の提供の申し出のあった幼児児童生徒に対して計画の作成と活用を推進しました。                       | ・特別支援学級在籍及び通級による指導を受けている児童生徒はもとより、通常の学級に在籍し計画を必要とする児童生徒に対する計画の作成と活用について指導助言しました。 |                      |
| 4-(5)    |                     | (5)障害のある子ども一人一人が十分に教育を受けられるための取組の充実 | 特別支援教育課 | 4-19       | 幼・小・中・高等学校等において、個別の教育支援計画の作成を必要とする児童等のうち、実際に個別の教育支援計画が作成されている児童等の割合 | %  | 92.9         | 95.3         | 94.9         | 96.5        | 96.5        | 97.7        |             | A  | ・特別支援学級、通級指導教室の在籍児童生徒はもとより、合理的配慮の提供の申し出のあった幼児児童生徒に対して計画の作成と活用を推進しました。                       | ・特別支援学級在籍及び通級による指導を受けている児童生徒はもとより、通常の学級に在籍し計画を必要とする児童生徒に対する計画の作成と活用について指導助言しました。 |                      |
| 4-(5)    |                     | (5)障害のある子ども一人一人が十分に教育を受けられるための取組の充実 | 特別支援教育課 | 4-20       | 特別支援教育に関する校内研修実施率   | %  | —            | —            | 85.5         | —           | —           | 90          |             | —  | ・これまで文部科学省の調査をもとに設定していましたが、30年度より調査項目が変更になりました(教員研修受講率→校内研修実施率)。特別支援教育の理解推進のため、研修の充実を図りました。 | ・令和元年度は調査未実施でしたが、特別支援教育は重要な問題であり、特別支援教育の推進のため、引き続き研修の充実を図っていきます。                 |                      |
| 4-(5)    |                     | (5)障害のある子ども一人一人が十分に教育を受けられるための取組の充実 | 特別支援教育課 | 4-21       | 特別支援教育に関する校内委員会の設置率   | %  | 100          | 100          | 100          | 100         | 100         | 100         |             | A  | ・引き続き、一人一人の教育的ニーズに応じた適切な支援ができるよう特別支援教育に関する校内関係者による委員会の設定、会議の質的向上を進めました。                     | ・特別支援教育についての校内委員会は全校で設置されており、効率的な会議運営、質的向上について指導助言しました。                          |                      |
| 4-(5)    |                     | (5)障害のある子ども一人一人が十分に教育を受けられるための取組の充実 | 特別支援教育課 | 4-22       | 特別支援教育コーディネーターの指名率  | %  | 100          | 100          | 100          | 100         | 100         | 100         |             | A  | ・引き続き、学校における特別支援教育コーディネーターの資質の向上を図り、複数の教員を指名できるよう校内支援体制の充実を図りました。                           | ・全校で特別支援教育コーディネーターは指名されています。研修を実施し、コーディネーターの資質向上を図りました。                          |                      |
| 4-(5)    |                     | (5)障害のある子ども一人一人が十分に教育を受けられるための取組の充実 | 特別支援教育課 | 4-23       | 特別支援学校教員の特別支援学校教諭免許状保有率   | %  | 87.7         | 90.6         | 93.6<br>90.6 | 92.1        | 92.7        | 93.5        |             | A  | ・引続き、特別支援学校に勤務する全ての者が特別支援学校教諭免許状を取得するように働きかけました。  | ・継続して、特別支援学校に勤務する全ての者が特別支援学校教諭免許状を取得するように指導助言しました。                               |                      |
| 4-(5)    |                     | (5)障害のある子ども一人一人が十分に教育を受けられるための取組の充実 | 特別支援教育課 | 4-24       | 特別支援学校のセンター的機能を主として担当する分掌・組織の設置率                                    | %  | 100          | 100          | 100          | 100         | 100         | 100         |             | A  | ・各校において、特別支援学校のセンター的機能を発揮し、相談対応数は1万件を超えました。   | ・各校の教師の専門性や施設・設備を生かした地域におけるセンターとしての機能を発揮しました。                                    |                      |